

## 評価結果概要表

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3873700441
法人名	医療法人青峰会
事業所名	アクティブライフ 保内
所在地	愛媛県八幡浜市保内町宮内1番耕地324番地 (電話)0894-36-2103
自己評価作成日	平成23年8月20日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成23年9月6日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>24時間医療連携体制により、主治医と看護師連絡・指示を仰ぐ事が出来るので安心感が持てる。家庭菜園で四季折々の野菜を育て、食事に出して、目と舌で楽しんでいる。水分補給時には、個々の好みに応じて色んな飲み物を出すようにしている。</p>
---

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

<p>地域行事等には積極的に出かけておられ、8月には地域の盆踊りや夏祭り等にも出かけられた。又、地域の清掃活動や防災訓練等、地域の方達とともに活動されて、改めて協力し合ったり、理解し合うことの大切さを感じられたようだ。地域の高等学校の職場見学を受け入れておられ、学生は、利用者とゲームをしたり、歌を歌って過ごされ、利用者の生き生きした姿もみられた。学生の中からは「介護職に就きたい」という希望も聞かれたようだ。事業所の食事の材料は、地域にあるスーパーに配達してもらっており、利用者も一緒に受け取る等、店員の方と顔なじみとなっている。</p> <p>市の担当者は、敬老会やクリスマス会等、事業所の行事に参加して下さることもあり、利用者の暮らしぶりを見て下さっている。最近では、多くの方が運営推進会議に参加して下さるよう日程等について相談された。これまでは、平日の開催であったが、現在は、ご家族や地域の方の予定等を考慮して、土曜日の午後の開催とされ、市の担当者の方も出席して下さっている。</p>
--

### ・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25) 1. ほぼ全ての利用者の 2. <b>利用者の2/3くらい</b> 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19) 1. ほぼ全ての家族と 2. <b>家族の2/3くらい</b> 3. 家族の1/3くらい 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38) 1. <b>毎日ある</b> 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20) 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. <b>たまに</b> 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38) 1. <b>ほぼ全ての利用者が</b> 2. <b>利用者の2/3くらいが</b> 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4) 1. 大いに増えている 2. <b>少しずつ増えている</b> 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37) 1. ほぼ全ての利用者が 2. <b>利用者の2/3くらいが</b> 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目：11,12) 1. <b>ほぼ全ての職員が</b> 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49) 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. <b>利用者の1/3くらいが</b> 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う 1. ほぼ全ての利用者が 2. <b>利用者の2/3くらいが</b> 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31) 1. <b>ほぼ全ての利用者が</b> 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う 1. ほぼ全ての家族等が 2. <b>家族等の2/3くらいが</b> 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目：28) 1. ほぼ全ての利用者が 2. <b>利用者の2/3くらいが</b> 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 アクティブライフ 保内

(ユニット名) B 棟

記入者(管理者)  
氏名 甲野雄司

評価完了日 平成23年8月20日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>理念に基づく運営</b>				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価)	
			理念を「地域・家族・ホーム内における相互のふれあいを大切にし、笑顔あふれるその人らしい生活を支援する」と掲げ、玄関入り口や事務所に掲示しています。不十分な点もありますが、理念の実現ができるよう日々取り組んでいます。	
(外部評価)				
平成20年に、すべての職員で意見を出し合い、「地域 家族ホーム間における相互のふれあいを大切にし、笑顔あふれるその人らしい生活を支援する」と、事業所理念を作成された。理念は、事務所や各ユニットの出入りに掲示されており、管理者は、「その人らしい生活を支援する」ことについて、職員に利用者主体のケアの大切さを話しておられる。				
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価)	
			日常的な交流は十分とはいえませんが、隣近所の方々とお会いしたときには、必ず挨拶を交わすように努めています。また、地域の清掃作業や支部総会などの行事等には、出来る限り参加するようにし、交流を深めています。	
(外部評価)				
地域行事等には積極的に出かけておられ、8月には地域の盆踊りや夏祭り等にも出かけられた。又、地域の清掃活動や防災訓練等、地域の方達とともに活動されて、改めて協力し合ったり、理解し合うことの大切さを感じられたようだ。地域の高等学校の職場見学を受け入れておられ、学生は、利用者と一緒にゲームをしたり、歌を歌って過ごされ、利用者の生き生きした姿もみられた。学生の中からは「介護職に就きたい」という希望も聞かれたようだ。事業所の食事の材料は、地域にあるスーパーに配達してもらっており、利用者も一緒に受け取る等、店員の方と顔なじみとなっている。	今後も地域の方達との交流をすすめられて、認知症や事業所のことをさらに知っていただけるよう取り組んでいかれてほしい。事業所の専門性等を活かした活動や、又、事業所に足を運んでいただけるような取り組み等も工夫して、さらに地域との関係を深めていかれてほしい。			
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価)	
			地域の方からの相談などがある場合には速やかに対応していますが、ホーム内の利用者の支援で精一杯な点が多く、施設から地域に向けての支援には至っていないのが現状です。今後は、地域の代表の方々や市の機関と連携を図り、地域貢献が行えるようにしていきたいと思ひます。	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>運営推進会議では、施設の様子を見て頂いたり、サービス内容等を報告を行い、ご意見や評価などを頂いています。会議で出た意見等は、スタッフ会で話し合い、サービス向上に活かせるようにしています。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>会議時には、メンバーの方々に事業所内を見学していただき、設備や利用者の生活の様子を知っていただいた。メンバーの方からは「地域と事業所の相互理解のためにも、事業所の見学会を企画して、回覧板で案内してはどうか」という提案もいただいております。現在検討しているところである。又、「事業所の看板が小さい」という意見もあり、さっそく、玄関脇の壁に、2ユニットそれぞれの入り口が分かりやすいように、木製の大きな表札をかけられた。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>事故報告書等、必要な提出書類は、速やかに行政に提出をしています。また、定期的に市のGH連絡会議に参加して、他施設との情報交換を図り、質の向上に努めています。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>市の担当者は、敬老会やクリスマス会等、事業所の行事に参加してくださることもあり、利用者の暮らしぶりを見てくださっている。最近では、多くの方が運営推進会議に参加して下さるよう日程等について相談された。これまでは、平日の開催であったが、現在は、ご家族や地域の方の予定等を考慮して、土曜日の午後の開催とされ、市の担当者の方も出席して下さっている。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>玄関にはチャイムを設置し、扉の開閉を把握できるようにしています。また、勉強会にも職員は交代で参加しており、身体拘束をしないケアを理解し実践しています。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>「家に帰る」と荷物をまとめて、出かけていくような利用者もいるが、職員は止めることなく、ご本人に付き添って支援されており、調査訪問時にも、玄関のチャイムが鳴ると、職員が確認されて、利用者が出かける後からそっと付き添って出かけて行かれる様子がみられた。時々、ご家族に電話してお話することでご本人の気持ちが納得するよう方もあり、ご家族とも相談しながら対応されている。ベッドからの立ち上がり時に転倒する心配がある利用者には、センサーを設置して、立ち上がり時には職員が見守るようにされている。</p>	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 附帯施設の勉強会、研修会に参加し、学ぶ機会を設け虐待のないよう努めています。ただ、利用者の自宅までは把握できていないのが現状です。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修会や勉強会で学ぶ機会を設けています。現時点では、この制度を必要とされる方はおられませんが、必要な方がおられる時には支援出来ると思います	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時には、管理者から十分な時間を設け説明を行っていると思います。また、ご利用者やご家族からの不安や疑問点に対しては、丁寧に回答を行うよう心がけています。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ご家族の面会時には意見や要望を伺い、コミュニケーションに努めています。伺った意見等は、スタッフ会、業務日誌、申し送り等を活用し、職員間で改善に繋げています。また、玄関に意見箱を設置して、苦情等意見が出た際には、運営に反映させる体制をとっています。 (外部評価) 事業所便り「ブルーベリー」では、運営推進会議の内容を報告されたり、地域の方達との交流の様子を伝えておられる。毎日、夕食の介助に来てくださるご家族や運営推進会議や行事等に参加してくださるご家族もいる。ご家族の来訪時、職員は、あいさつすることを心がけ、利用者や事業所の様子を伝え、ご家族のケアへの希望等を聞くようにされている。今後さらに、足遠いご家族からも事業所のサービス等について具体的に意見や要望をうかがえるよう、事業所からの働きかけを工夫されてみてはどうだろうか。	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月に1度のスタッフ会や年2回の面接時に、管理者が職員の意見や提案を聞く機会が設けられています。法人母体が多くの施設運営を行っていることから、管理者が職員と代表者の中間役となり、職員の意見を反映させていますが、必ずしも全てが反映される体制には至っていない状況です。	
			(外部評価) 管理者は、記録の書き方や意識統一のため、時をみながら職員と話す機会を設けておられる。職員のアイデアでテラスにゴーヤを植えて、日よけのグリーンカーテンを作っておられ、利用者と実の収穫を楽しまれたり、食卓に上っている。又、職員は、利用者の状態に応じて浴室に手すりを付けることを提案されて、設置されていた。緊急の避難経路の確保や利用者が日常的に外に出て楽しめるよう、居間から中庭に出られるようにスロープの設置も提案されている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 資格取得、勤務数、態度などによつての登用制度が設けられています。また、半年ごとの個人目標の計画と評価を行っています。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 内部研修においては、月1回内部勉強会を開催し、参加可能な職員が参加しています。また、附带施設勉強会も職員が交代で参加しています。外部研修においては、事務所に研修の案内を置き、自由に参加出来るようにしています。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 研修会や連絡会議に参加し、交流の機会を図り、サービスの質向上につなげるようにしています。	
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 事前訪問や面会などを行っています。ご本人の状態、環境等によって直接話を聞くことが困難な時もありますが、可能な限り、ご本人の要望等の把握と信頼関係に努めています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 事前面接や施設見学に来て頂いた際に、ご家族の要望等を伺い、関係構築に努めています。また、入居後も職員が家族面会時に不安や要望等を伺うとともに、ご本人の近況報告などを行い関係作りに努めています。	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 入居される方の大半が、法人母体にある医療情報課からの紹介が殆どですので、適切なサービス内容を決定した段階で当事業所に入居されていると思います。また、必要であれば専門的な立場での助言等をその都度させて頂いていると思います。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 一緒に生活をするという意識を大切に、日々の作業の中で、コミュニケーションを取りながら共に参加し、関係づくりに努めています。	
19		本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご本人とご家族の絆を第一に、面会時間(夜間以外)、電話等の連絡、外出・外泊の制限を設けていません。ご利用者の様子は、毎月発行のGH新聞(ブルーベリー)を通して情報を提供したり、面会時や電話等で近況を報告させて頂いています。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 時々、友人や近所の方が訪ねて来られる時があり、その時には、ゆっくりと過ごさせて頂いています。ご本人の行きたい所への外出は頻繁ではありませんが、出来る範囲で支援して行きたいと思います。また、日常の会話や支援においてこれまで暮らされてきた話をして頂けるように、努めています。 (外部評価) 利用者からは「住んでいた所に行きたい」との希望が多くあり、時をみながら職員と出かけられるよう支援されている。ご家族と行きつけの美容院を利用される方もいる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 利用者個々の性格や利用者同士の関係を把握し、職員が仲介役となりながら、共に関わり合い、支え合えるよう努めています。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 契約が終了してからの関係性は殆どありませんが、ご本人やご家族からの相談・要望があれば支援できる体制はあります。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) ご利用者一人一人の思いや、暮らし方の希望・意向を日々の関わり(ご本人の行動・表情)や生活歴、ご家族からの情報、スタッフ会での職員の意見等で把握するとともに支援に努めています。	
			(外部評価) 日々の会話やご家族からの情報、又、テレビを見ながら、お若い頃のことをお聞きして、利用者個々のこれまでのことを知り得ることに努めて、センター方式を用いて情報収集に取り組んでおられるところである。利用者が折にふれて手を合わせるのを見て、職員は、「観音様を見に行ってみてはどうか」と提案され、計画中であった。	今後、利用者主体のケアが実践できるようアセスメントを充実されて、「笑顔あふれるその人らしい生活を支援する」ことにつながっていかれてほしい。ご本人の社会性等、資源を活かしながら生活を続けていけるよう、アセスメントに取り組んでいかれてほしい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居時にアセスメントシートを用い、ご本人・ご家族から情報収集し、出来るだけの把握に努めています。また、入居後もご本人やご家族からの会話を中で、新たな情報の把握と共有に努めています。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 朝夕の申し送り、記録等、日々の関わりの中で、現状の把握に努めています。また、日常業務において職員同士のコミュニケーションを大切に、迅速かつ的確な情報の共有を図っています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価) ご本人、ご家族の意向を伺い、月1回、スタッフ会で課題やケアのあり方、評価等を話し合い介護計画に反映させています。</p> <p>(外部評価) これまでの利用者の暮らしを続けられるような支援に努めておられる。土いじりが趣味だった利用者には、事業所でも土に触れながら暮らせるように具体的に計画が立てられている。毎日の記録の上段には、毎回ケアプランを書き込めるように、欄を設けておられ、職員が毎ページ記入することで計画の目標を共有して取り組めるようになっている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価) 個別記録に介護計画を記入しており、意識付けをしながら日々の様子を記録しています。また、職員間で個別記録の情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしています。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) ご本人やご家族が望まれる生活ができるように、要望があれば検討を行い、柔軟な支援ができるように心がけています。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価) 必要に応じて、さわやか相談員、中・高生職場体験、見学は受け入れ実施しています。今後もさらに地域資源の把握と協働に努めて行きたいと思っています。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>定期的に往診して下さる法人医師となっておりますが、ご希望があれば他の医療施設への受診や入院も支援していません。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>定期的に協力医や歯科医師の往診がある。連携している母体法人の看護師から教えてもらった「ゴーヤジュース」を試してみられ、利用者の便秘の解消になっているようだ。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>医療連携看護師が週1回訪問に来所し、利用者の状態を診て頂いています。日常の些細な点も相談したり、情報を伝えたりして、適切なアドバイスを頂いています。</p>	
			<p>(外部評価)</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入院は主に母体の病院となることが多く、医師往診や看護師訪問時に情報交換は出来ています。又、医療情報課を通し相談も出来る体制にあります。</p>	
			<p>(外部評価)</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>重症化すると母体の病院への入院となることが多いのが現状です。契約時には、ご家族に対して終末ケアの方針について説明を十分に行っています。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>現在は、ご家族等の希望もあって最期は、母体病院に入院となる場合が多いようだ。これまで事業所で看取りを支援した事例はないが、事業所での看取りの希望があれば、ご家族、主治医、看護師、管理者で話し合っって今後のことについて話し合っておられる。法人内のグループホームが看取り支援を行ったことを機に、今後は、事業所でも利用者、ご家族からの希望があれば看取り支援に取り組んでいきたい、と考えておられる。</p>	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 附帯施設の勉強会など定期的に勉強会へ参加し、学ぶ機会がありますが、全職員で訓練を行う機会は少なく、個々に実践力を身に付けるように努めているのが現状です。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 災害に対するマニュアルを作成し、年2回避難訓練を実施しています。地域の方々にも運営推進会議等を通して、緊急等にはご協力いただけるよう呼びかけています。  (外部評価) 夜間想定で避難訓練を行った際には、事前に出火場所を知らせずに実施したところ、職員は対応することの難しさを実感されたようである。実際に夜間に職員が集まるような訓練も行っておられ、地元の職員が多いこともあり、日中より早く駆け付けることができることが分かったようだ。	事業所の立地条件等も踏まえて、いろいろな災害を想定した訓練を重ねていかれることが期待される。又、地域の方達とのさらなる協力体制作りや、事業所の資源を活かして地域の方達とも協力し合えるよう、取り組みをすすめていかれてほしい。
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) どのような場面においてもご利用者の尊厳とプライバシーの確保には十分配慮したいと思っておりますが、場合によっては声掛けや対応を改善すべき点もあると思っております。  (外部評価) 管理者は、職員の利用者へのかかわりの中で気になるような場合には、個々に話す機会を作っておられる。昼食後、職員は利用者に「午後から何しますか」と相談され、午後からは、利用者それぞれがテレビをみたり、おしゃべりしたり、居室で休まれる等して過ごされていた。又、歌の得意な利用者の方が歌を口ずさむと、他の利用者の方も歌い始められ、又、職員も一緒に歌う等して和やかな雰囲気が感じられるひと時がみられた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 場合によっては、職員側のベースになってしまう事もありますが、日常的に出来る限りご本人の思いや希望を表したり、自己決定出来るよう努めています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 全てのご利用者の希望に添える様に努めていますが、その日のご利用者の状態、職員の勤務状態等によって、その時の希望に添えない時もあります。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 日常的な支援としては、朝のモーニングケアや着て頂く服を選んでいただき、日々身だしなみや整髪等行うよう気を配っています。 理容については、月1回の出張理容を利用して頂いていません。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) その日の献立やご利用者の状態によって異なりますが、下ごしらえ、片付けなど、出来る限り協力して頂いています。食事の際には、声掛けをしながら楽しい雰囲気の中で食べて頂くよう心掛けています。 (外部評価) 法人内の系列グループホームが合同で、3ヶ月ごとに交代で献立を決めておられる。いろいろなメニューが楽しめることで利用者の食欲も高められているようだ。利用者が「今日の献立」をホワイトボードに書いてくださり、利用者や職員はそれを見たり、話題にして、食事を楽しみにされている。利用者は職員と、もやしの根とりや野菜を切る等されたり、調査訪問時には、食器の片付けや台拭きを行っておられる方もみられた。利用者個々の状態に合わせて食材を小さく切ったり、ミキサーにかけたりして、食べやすいように調理されていた。ご家族からいただいたブルーベリーの苗を中庭で育てておられ、調査訪問時にはヨーグルトに手作りしたジャムを添えて出していただいた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事量、水分量は介護記録に記入し、把握できるようにしています。又、ご利用者の好みに合わせ、水分補給時には、ジュース類、コーヒー、牛乳などお出しするよう工夫しています。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後の口腔ケアをご利用者の状態にあわせて行っています。また、週に1回は必ず義歯洗浄、コップや歯ブラシの消毒を行っています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 殆どのご利用者が、パットや紙パンツ(紙オムツ)を使用されていますが、ご本人の状態や排泄パターンを把握しながら、気持ちの良い排泄ができるよう支援しています。	
			(外部評価) 日中は、できるだけトイレで排泄するよう支援されている。夜間、トイレまでいくことが難しいような利用者は、ベッドの脇にポータブルトイレを置いて使用されている。入・退院で状態が変わった場合でも、状態が改善されるような支援に努めておられる。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、食事・飲み物や体操等で身体を動かして頂くよう工夫しています。それでも、排泄が困難な方に対しては主治医から内服薬の処方をして頂いています。	
			(外部評価)	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) ご利用者の状態や職員の勤務状態等により、入浴の時間帯は限られますが、2～3日に1回は入浴して頂いています。入浴の際にはご本人の状態やご希望にあわせながら、安全で心地よい入浴支援を心がけています。	
			(外部評価) ご自分で浴槽で温まることができる利用者は午前中に入浴されている。介助が必要な利用者は、午後から併設デイサービスのリフト浴で入浴をされており、両ユニットから職員が1名ずつ介助に就くようになっている。入浴に気が向かないような利用者もおられるが、入浴の時間をずらしたり、言葉のかけ方等も工夫して入浴につながるよう支援されており、利用者は入浴後は、「気持ちよかった」と笑顔がみられるようだ。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) ご本人の意志や希望を伺いながら、居室で休まれたり、食堂(ソファ等)でゆったり過ごして頂くようにしています。また、安心した安眠や休息ができるよう環境(照明等)の工夫や、日中の活動の工夫をしています。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 介護記録には、薬の効能、用法、用量を記入しています。又、薬情も一緒にファイルしていますので、必要な際にはいつでも確認出来るようにしています。また、かかりつけ医や連携看護師にいつでも相談や説明をうける体制にあります。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) ご利用者の状態に合わせて出来る作業には、無理のない程度に参加して頂いたり、ご本人の趣味や好みにあわせながら楽しみとなるような支援に努めています。出来る時には、ドライブや買い物などの外出などにて気分転換等をして頂いています。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) ご利用者の状態や職員の勤務状態などをみながら、散歩や買い物、ドライブなど戸外に出かけられるようにしています。また、天気の良いときにテラスで過ごす機会を設けています。年間を通して外出行事なども行っていますが、ご家族や地域の方々への働きかけが弱いと、強化をしていきたいと思ひます。	
			(外部評価) ドラッグストアにお菓子や日用品を買いに出かけたり、おやつを買いに出かけることもある。近くの桜のきれいな公園へのお花見は、併設デイサービスの車を利用し全員で外出された。桜を愛でたり、写真を撮る等して楽しまれ、利用者の体調にも配慮して事業所に戻って食事をされた。	現在、利用者の重度化のこともあり、又、職員数の制限もあって外出支援に難しさもあるようだ。外に出ると笑顔がみられるような利用者も多く、今後さらに、ご家族や地域の方、ボランティア等、いろいろな方の協力も得ながら利用者が外に出て楽しめるような機会作りに取り組んでいかれてほしい。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 殆どの方は、所持、管理はされていません。必要な物品があれば、ご家族の了解のもと、ホームの立て替えを利用したり、ご家族が持って来られたりしています。現在はご利用者の中で、施設の中にある公衆電話でご家族に電話をかける方がおり、小銭程度の金銭をご自分で所持されています。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) ご利用者の中に、ご家族に電話をかけられる方がおられ支援しています。日常的に手紙を書かれる方はおられませんが、希望される方には支援していきたいとおもいます。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>玄関や食堂には、季節感を採り入れた壁画やカレンダーを飾っています。また、テラスには花や野菜などを植えて楽しんでいただいています。不快な音や光、温度調節にも気配慮しながら、ゆったりと安心して過ごされるよう努めています。</p> <p>(外部評価)</p> <p>玄関の水槽には、地域の夏祭り時に夜店ですくった金魚や珍しい金魚が泳いでいる。居間や居室から中庭の草木を眺められ、季節の移り変わりを感じることができるようになっている。居間からテラスへは段差がなく、ご自分で出ることができるようになっており、職員と一緒に洗濯ものを取り込んだり、日向ぼっこ等をされている。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>食堂、廊下にはソファを設置して、ご利用者が思い思いに過ごされていると思います。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>居室には、備え付けのタンスがあり、荷物を置ける空間は限られてはいますが、ご利用者の中には、テレビや冷蔵庫、馴染みの物を置いておられご本人が居心地よく過ごせる居室になるよう配慮しています。また、居室の壁や居室ドアなどには、活動で作成した物や写真などを飾り、ご本人らしい空間づくりを支援しています。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居室の窓からは、中庭の草木を眺めることもできて、風通しのよい空間となっている。ご家族の写真や家系図を貼っておられたり、たくさんのアルバムを置いておられるような居室もみられた。車いすのまま洋服を選んだり着替えができるよう、洋服をかけるハンガーラックの高さを調整されている。ご家族が足こぎ運動のための健康器具を持って来られて、ご家族と一緒に運動をされている利用者もいる。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>施設の構造上、全てがご利用者一人一人の状態に応じた環境とはいえませんが、トイレや居室には、目印になる表示をするなど、ご利用者が安全で自立した生活が送れるように出来る限り工夫しています。</p>	